

食べて歩いて、健康になろう!

あの街“おいしい”ウォーキング

澄んだ空気が心地よい
緑豊かな町

『神石高原町』

今回はぼくが案内します!



広島グルメ「SUNジュ〜SEA」
太陽の恵み・SUN! 鉄板グルメ・ジュ〜!
海の幸・SEA! おいしいものをこよなく愛するウォーキングナビゲーター。

小説家・井伏鱒二ゆかりの地をめぐる 読書好きのための文学ウォーキング

今回は、小説『黒い雨』の作者・井伏鱒二ゆかりの地をめぐるコース。バス停 神石高原町立病院に着いたら、まずは『黒い雨』の終章に登場する乱塔池へ。つつじが丘公園にも立ち寄り、文学碑を見ていこう。その後小島代官所址をチェックしたら、お次は歴史と文学の館 志麻利で井伏鱒二について学ぶ。小説の世界に思いを馳せつつ、ゴールのバス停 神石高原町立病院をめざそう。

歩く時間: 27分 歩く距離: 1,915m 消費カロリー: 127kcal



私たちに平和の尊さを伝える井伏鱒二の代表作『黒い雨』は、神石高原町が舞台となった作品。町内には小説に登場するスポットがたくさんあるんだ。

ぶどう

神石高原町のおいしいもの



標高400～500mの高地にある神石高原町。その冷涼な環境を活かした特産品の一つがぶどうだ。種無し品種の「ニューピオーネ」や皮ごと食べられる「シャインマスカット」など、さまざまな品種のぶどうを生産している。フレッシュでほんのり甘いぶどうは幅広い世代から人気を集めている。

今回のウォーキングで
127kcal消費 = ぶどう 約1.3房分

※ぶどう1房あたり200g(可食部)で算出

- 凡例
- ① おすすめ立ち寄りスポット
 - 00 国道 00 県道 WC トイレ
 - 主要道 一般道
 - 登り坂 下り坂
 - 高速道路

1 乱塔池
『黒い雨』の主人公・関重松は、ここで姪の矢須子の回復を強く祈る。
☎神石郡神石高原町小島

3 小島代官所址
関ヶ原の合戦以降、中津藩奥平家の飛び領となった際の代官所跡。井伏鱒二の書による記念碑が建てられている。
☎0847-89-3341 (神石高原町教育委員会教育課) ☎神石郡神石高原町小島2025

2 つつじが丘公園
『黒い雨』の主人公のモデルの生家の近くにある、約15,000本のつつじがある公園。小説の一節が刻まれた文学碑がある。
☎0847-89-3337 (神石高原町役場本庁産業課) ☎神石郡神石高原町小島1873

4 歴史と文学の館 志麻利
井伏鱒二の直筆原稿や小説のモデル・重松静馬との写真、『黒い雨』を連載した当時の文芸誌など約50点を展示。
☎0847-85-2808 ☎神石郡神石高原町小島1733

memo
営業時間: 月・木曜は10時～16時、日曜は～15時
※その他不定休あり。詳細は電話で要確認
定休日: 火・水・金・土曜
料金: 施設見学は無料、お茶席は500円(要予約)

※時間・距離は目安です ※消費カロリーは体重60kgの人が分速80mで平地を歩いた場合の総計距離で算出しています